

# 朋友

For You

沖縄セントラル病院広報誌

2010年4月発行 Vol.11



医療法人寿仁会 沖縄セントラル病院

〒902-0076 沖縄県那覇市与儀 1-26-6 TEL.098-854-5511 FAX.098-854-5519

URL <http://okinawa-central-hospital.jp/> E-Mail [o-centh1@nirai.ne.jp](mailto:o-centh1@nirai.ne.jp)

新年度の期待と予感 (病院長 宮城 航一) . . . . .	3
県外研修報告 (院内感染対委員 我謝 光茂) . . . . .	4
ハイチ医療支援活動報告 (リハビリテーション科 渡久地 ルイス) . . . . .	5
新入職者の紹介 . . . . .	6
病院の基本理念 . . . . .	7

特定非営利活動法人アムダ

# AMDA

沖縄



金武町屋嘉在の「ひんぷん館」の館長、光永一仁氏から AMDA 沖縄へ寄付がありました。

## AMDA 沖縄 会員募集

救える命があればどこへでも！  
AMDA 沖縄の活動を応援してくださる会員を募集しています。入会希望の方は下記まで連絡下さい。

(医師・一般・法人・学生等)

那覇市与儀1丁目26番6号(沖縄セントラル病院内)  
TEL098-854-5511 (担当：津波古)

## AMDAの活動へのご支援のお願い

AMDAでは今後も平和を妨げる戦争、災害、そして貧困に苦しめられている人々への保健医療支援を行なっていきます。今後とも変わらぬご支援をお願いいたします。ご寄附の場合は下記の口座までお願いいたします。

沖縄銀行 与儀支店 普通預金 1295760  
アムダ沖縄代表 大仲良一(おおなかよしいち)

# 新年度の期待と予感



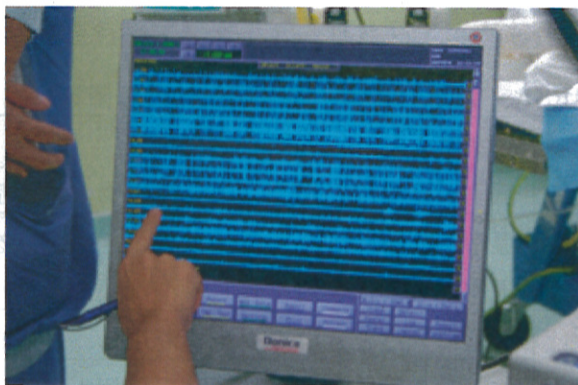
病院長 宮城 航一

新卒の職員がいよいよ仕事をスタートする。4月1日をもって新年度とするのは日本独特なものかも知れない。職場の配置変換があったり、年度決算が3月31日でめられたり、社会人の「ころ」が穏やかでなくなるのが3月、4月である。それが原因となり自殺者が多くなるのは3月であると報道されている。

医療福祉に携わる施設として、私たち職員の「ころ」の健康を大切にしたい。同僚を肯定的、受容的に捉える態度は、精神的に未熟で、人格的にも余裕がない人には持ち得ぬものである。新年度はチームとして、各セクションが質的により高い医療を提供できるように、自分のセクションのことばかりでなく全体的な視野の中で一人一人が成長していく必要があるだろう。観念的な発言と受け取られるかも知れないが、業務をスムーズに展開する上で心すべきことと思う。

ガンマナイフ診療や外来で時間を作ることに困難を覚えているけれど、4月から各病棟の院長回診の中で質的な向上を率先して行きたいと考えている。

新年度からDBSを含む定位的機能脳神経外科手術が開始される。DBSは、パーキンソン病、ジストニアといった不随意運動症を主たる対象としている。県内でこれを実施している施設はなく、東京や福岡へ不自由な体を忍び、かつ金銭的にも大変な負担を強いられた方々には朗報となるであろう。現在、慎重にその準備を進めているところである。



写真左：パーキンソン病に対するDBS手術。

写真右：DBS手術中のマイクロレコーディング。

回復期リハビリテーション病棟の開設も、大仲理事長の2010年度の計画として取り上げられた。開設するからには、療養病棟の延長のようなリハビリテーションではなく、社会復帰・自立をめざしたリハビリテーション病棟にしたい。今年の暮れには高齢者専用住宅も完成するので、万一自宅に戻れない患者様がいた場合にも、高齢者専用住宅に入居して通所リハビリテーションや訪問リハビリテーションなどが利用できるようなになれば、入院期日に制限がある回復期リハビリテーション入院者にとって安心してリハビリに取り組める利点もある。

2010年が沖縄セントラル病院の飛躍の年になる予感がしている。院外との連携もさることながら、院内の各セクションが連携し、それぞれが質的に向上することを期待している。

2010年3月3日

# 県外研修報告

(2009年12月10日～11日の2日間大分県大分市にて開催)



院内感染対策委員 検査科 我謝 光茂

＝医療機関における感染制御＝

まず院内感染対策の重要性について、患者側の不利益として入院期間の延長、本来の疾患以外に対する治療の必要性、時に死の危険性を病院側の不利益として、経費の増大、医療紛争、病院評価の低下を挙げています。院内感染症とは、入院後48時間以降に発生した感染症のことです。入院した事により感染症にかかったという事です。この院内感染を防ぐのに、感染対策防止で標準感染予防策の徹底、感染経路別感染予防策の徹底、マニュアル、ガイドラインの遵守とサーベイランス。適切な感染症診断と抗菌薬の使い方を挙げています。

## 標準予防策

手袋と手洗い	湿性生体物質（血液、体液、分泌物、排泄物）に接触する時には手袋を着用し、使用後に石けんで手洗いをする。
ガウン	患者の湿性生体物質で衣服が汚染される可能性がある時には着用する。ガウンを脱いだ後に手洗いを行う。
マスク・ゴーグル	湿性生体物質が飛び散る可能性がある時はマスクやゴーグルを着用する。
環境整備	患者待合室などにある物品等の清掃を定期的に行う必要がある。
注射	使用済みの針はリキャップせず、専用の廃棄容器に捨てる。
咳エチケットの推進	

## 感染経路別予防策

### 1.接触予防策（MRSA、VRE、赤痢、腸管出血性大腸菌等）

患者配置	個室に入れる（原則として） 個室が足りない場合、同一微生物の感染症患者を同一の部屋にする。
手袋と手洗い	標準予防策に加え部屋に入るときに手袋を着用する。 退室する前に手袋を外し、消毒薬で手指消毒する。
ガウン	部屋に入るときはガウンを着用し、部屋を出るときはガウンを外す。
患者使用器具	体温計や聴診器の器具類は患者個人専用にする。 専用できない場合は、同一微生物の感染症患者専用とする。

### 2.飛沫予防策（インフルエンザ、百日咳、風疹、マイコプラズマ等）

患者配置	個室に入れる。（原則として） 個室が足りない場合、同一微生物の感染症患者を同一の部屋にする。 上記不可能な場合、患者間を2m以上離す。特別な空調換気は不必要。
手袋と手洗い	標準予防策でよい。
マスク	患者に1m以内に接近するときはマスクを着用する。

### 3.空気予防策（結核、麻疹、水痘）

手洗いは標準予防策でよい。マスクはN95マスク着用。

処置・入院は専門医療機関へ。

# ハイチ医療支援活動報告



リハビリテーション科 渡久地 ルイス

2010年1月12日、ハイチ時間の15時40分ハイチに大地震が occurred.

ハイチの首都ポルトープランスはマグニチュード7.0の大地震、多くの建物が倒壊し、たくさんの人々が建物の下敷きになりました。死者は推定で、20万人。当初は、150万人以上と言われていましたが、たぶん正式にはわからないでしょう。

私は、アムダ沖縄の一員として1月15日成田空港からハイチへ出発しました。1月16日マイアミでカナダからの看護師と合流してドミニカに向かいました。本来なら飛行機で、向かう予定でしたが、飛行場が使えなくなっていたので、車でハイチに向かいました。ポルトープランスまで車で5~6時間かかりました。

1月17日に到着し、その日は市内を車で視察しました。市内の建物のほとんどが、倒壊し政府の建物や大統領官邸も同じく倒壊している状況でした。大統領はホームレスになりました。市内最大の病院も倒壊し、入院患者やケガ人は、市外の病院に搬送されていました。たくさんの人々の遺体は倒壊した建物の下敷きになった状態のままです。

市内は収容された死体が山のように積み上げられ、身元確認が出来ないまま伝染病予防の為、焼かれています。全体的にひどい臭いがしました。また、市内のあちらこちらで暴動が起っていました。援助物資は食糧品とか薬などがアメリカ等から届いていましたが、わずかしかなかった。

ポルトープランスから車で3時間位離れたサン・マルコ地区の聖ニコラス病院が被災者の受入病院として使われていました。この病院では既にアメリカのボストン・マサチューセッツ大学の大きな医療チーム、マイアミ、キューバ、ハイチの医療チームが医療活動を行っていました。私たちアムダも合流して医療活動を行いました。

多くの患者は、ベットもなく、コンクリートの床に横たわっていました。その状況の中で、ボストンのチームがトリアージを行い、患者の状態によって振り分けていました。私たちアムダは、アメリカ・ハイチのチームと一緒に治療にあたりました。ほとんどの患者が、骨折、裂傷、火傷など外科的な処置が必要な状態でした。私はアメリカ・ハイチのドクターと一緒に患部の消毒や診察を行いました。ハイチの医療設備はほとんどなく、レントゲンも古く、手術室も2室しかなく、また検査も初歩的な検査しかできない状態でした。

病院では、電気も所々しかついておらず、患者の他に家を失った患者の家族も寝泊まりしていました。

聖ニコラス病院の院長先生から話を伺ったところ、ハイチの平均寿命は46歳、子供の死亡率は、極めて高いとのこと。また、問題はHIV（エイズ）の患者が多いということです。ハイチの人口の2.7%はHIVで報告がないのを含めるとそれ以上になります。

サン・マルコ地区の聖ニコラス病院には5日間滞在し、その他はドミニカの境界線にあるヒマニへ移り2日間治療にあたりました。その病院は以前いたサンニコラス病院よりも患者は比較的少なく、ハイチの被災者が治療の為、詰めかけていましたが思ったほど、混乱もなく治療にあたりました。その後、28日にサントドミゴから日本に帰国しました。

# 病院の基本理念

- ひたすら病める人々のために
- 健全なる人々の更なる健康増進のために
- 集いし職員トモの生涯修養の館たらんことを

## 病院憲章

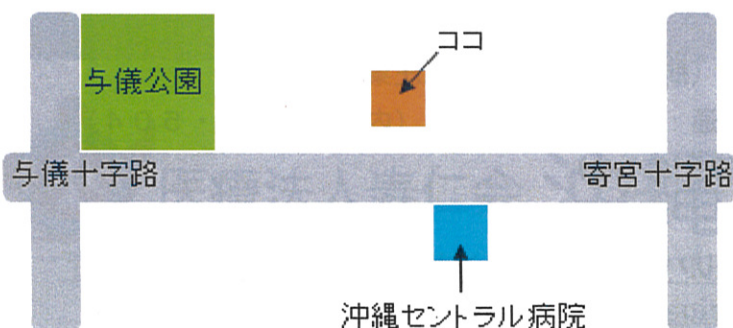
1. 私たちの病院は、地域の人々の健康と福祉を保証し、併せて健やかなる人々の病の予防と更なる健康増進のために努めることを目的とする。
2. 私たちの病院は、生命の尊重と人間愛を基本とし、常に医療水準の向上に努め、専門的・倫理的医療を提供するものとする。
3. 私たちの病院は、病める人々中心の医療の心構えを堅持し、地域の人々の満足を得られるように意欲ある活動をするものとする。
4. 私たちの病院は、何人も利用しやすく且つ便益を人々に公正に分かち合うサービスを志向するものとする。
5. 私たちの病院は、地域医療体系に参加し、各々のもてる機能の連携により、合理的で効率的な医療の成果を上げることに努めるものとする。
6. 私たち職員は、たゆみない研鑽を積み、医療の錬磨と医道の高揚に努め、限りない愛情と責任を持って、地域の人々のために最善を尽くすものとする。

## 看護部の理念

1. 地域の人々の、疾病の予防と健康増進の為に、検診から在宅看護まで一貫した看護活動をとおして地域に貢献します。
2. 患者の身体的、精神的、社会的ニーズにお応えし、きめ細かな看護、介護の実践を目指します。
3. 患者の人権を尊重し、質の高い看護、介護を提供する為に、看護研修や研究を継続します。

## 高齢者複合介護施設“ユートピア沖縄”ご案内

- 入居希望者を受付中です。(130室)
- 職員募集：医師・看護師・介護士・事務職・ヘルパー・その他
- 連絡先：施設開設準備室（沖縄セントラル病院内）TEL 098-854-5511 FAX 098-854-5519  
E-Mail o-centh1@nirai.ne.jp 担当：福丸・井手
- 場所：〒902-0064 沖縄県那覇市寄宮2丁目



診療科	AM/PM	月	火	水	木	金	土
循環器内科	AM		鈴木	鈴木			
	PM	鈴木				鈴木	
皮膚科	AM	琉大			琉大		
	PM						
外科	AM						
	PM				下地		
整形外科	AM	平	琉大	平	琉大	平	琉大
	PM	平		平	琉大	平	
内科 (消化器科)	AM				加藤		
	PM	加藤	加藤			加藤	
内視鏡・訪問		加藤	加藤		訪問診療	加藤	
内科 (一般内科)	AM	石田	石田	石田			
	PM			石田	石田		石田
内視鏡・訪問				石田	石田		石田
内科 (呼吸器科)	AM	久手堅		久手堅	久手堅		久手堅
	PM	久手堅		久手堅	久手堅	久手堅	
検診・ドック		久手堅	久手堅	久手堅	久手堅	久手堅	久手堅
脳神経外科	AM	大仲	大仲	大仲	大仲	大仲	大仲
	PM	宮城航一	千葉俊明	外間	千葉俊明	宮城航一	宮城航一
脳ドック・高気圧		大仲	大仲	外間	大仲	大仲	大仲
特殊外来 (ガンマナイフ・キリン)	AM	☆	☆	☆		☆	☆
	PM	宮城航一	☆	☆		☆	宮城航一

☆ ガンマナイフ治療従事

眼科	AM	宮城		宮城		宮城	宮城
	PM	宮城		宮城		宮城	
内科	AM					瀬尾	瀬尾
	PM						
心療内科		完全予約制 (石津先生/不定期月1~2回)					
歯科	AM	當間	當間	當間・仲程	當間・仲程	當間	當間・仲程
	PM	當間・仲程	當間	當間・仲程		當間・仲程	
訪問歯科	AM	仲程	仲程			仲程	
	PM						

■受付時間/午前 8:30 ~ 12:30 午後 13:30 ~ 17:30

■診察時間/午前 9:00 ~ 13:00 午後 14:00 ~ 18:00

◎ガンマナイフセンター 直通: 854-5516 (内線: 217)

◎高気圧酸素治療センター (内線: 115)

◎リハビリテーションセンター (内線: 500)

◎健康管理センター (内線: 214・223)

●人間ドック ●脳ドック ●一般検診 ●特殊検診 (航空身体検査・高気圧業務検査)

●メディカルフィットネスセンター「フローゲン」直通: 854-5541 (内線: 502・504)

◎居宅介護支援センター 直通: 855-7200 (内線: 219)

◎デイサービスセンター (内線: 505)

●健康増進サービス機関 (厚生労働省認可) ●付属リハビリテーションセンター